

## 部署紹介①

# 腎臓内科 血液浄化センター

腎臓内科部長兼血液浄化センター長

根木 茂雄

## 腎臓内科 血液浄化センターご紹介



▶腎臓内科／血液浄化センターのスタッフ

腎臓内科では腎臓領域と血液浄化領域の診療を行っています。腎臓領域の病気には主に腎臓のはたらきが急激に低下する急性腎障害(AKI)、ゆっくり(数年〜10数年)低下していく慢性腎臓病(CKD)の2つに分けられます。CKDは一旦進行すると残念ながら効果的な治療法はなく、最終的には透析が必要となる末期腎不全に至ります。CKDの原因にはいろいろな病気があります。代表的なのは糖尿病(糖尿病性腎臓病と最近では言われています)、糸球体腎炎、高血圧(腎硬化症)の3つで、最近では糖尿病性腎臓病の患者さんが増加しています。いずれにしても、早期発見して適切な治療を行えば、末期腎不全への進行を止めることは可能です。特に、糸球体腎炎の場合には検尿異常(蛋白尿、血尿)のみで腎臓のはたらきが低下していない時期に治療を行えば、完全に直すこともできます。そのためには早期発見が重要で、早期発見するには尿検査(検尿)が最も簡単な検査と言えます。したがって、1年に1回は健康診断を受け検尿異常がないかどうかを確認することが大切です。蛋白尿や血尿が持続する場合には腎生検(腎臓の組織を採取する検査)を行って診断をつけ、治療を行います。糖尿病の場合は血糖の管理が大切で、当科では糖尿病内科と連携して糖尿病性腎臓病の患者さんの診療を行っております。高血圧の場合は当然血圧の管理が重要となります。

血液浄化領域では血液浄化センター

(透析室)にてさまざまな合併症に対して入院治療(手術やその他処置)が必要な透析患者さんやAKIの患者さんに対して血液透析を施行します。血液透析以外にも症例は多くありませんが、特殊な血液浄化(単純血漿交換やLDL・アフェレシス、末梢血幹細胞採取・ハーベスト、など)も行い治療を行っています。血液透析患者さん以外にも腹膜透析患者さんも外来にて診療を行っており、現在は6名の患者さんが定期的に通院しています。また、救急領域においてAKIを合併した重症患者さんに対して、救命医や他科と連携して臨床工学技士により持続的血液浄化を施行し、AKIの治療を行っています。血液透析患者さんのバスキュラー・アクセス(内シャント・動脈と静脈を皮下でつなぐ)管理も当科の重要な仕事のひとつです。血液透析導入患者さんに対する内シャント作成、維持透析患者さんにおいて機能低下や閉塞した内シャントに対する修復も当院ではわれわれ腎臓内科の医師が行っています。最近では手術以外にカテーテルを使用してシャントを修復する経皮的内シャント拡張術(PTA)も行っており、外来にて加療することも可能です。

### 2019年度実施件数 (2019.4.1~2020.3.31)

腎生検	41件
維持透析導入	44件
内シャント手術	51件
PTA	111件



## 泉州広域母子医療センター

Sensyu Regional Medical Center for Women's and Children's Health

### ●周産期センター(産科・小児科)

平成20年4月より、りんくう総合医療センター産婦人科と市立貝塚病院産婦人科はひとつの組織として統合されました。りんくう総合医療センターは「周産期センター」として泉州地域の産婦人科医療を担う拠点病院として運用しています。



QRコード



詳しくはwebサイトをご覧ください